



2021年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月5日

上場会社名 株式会社 毎日コムネット

上場取引所 東

コード番号 8908 URL <https://www.maicom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 小野田 博幸

TEL 03-3548-2111

四半期報告書提出予定日 2021年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第3四半期の連結業績(2020年6月1日～2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	10,522	19.9	38	96.7	15	98.6	5	
2020年5月期第3四半期	13,136	7.4	1,166	32.1	1,103	36.9	727	37.8

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 20百万円 (%) 2020年5月期第3四半期 717百万円 (38.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	0.30	
2020年5月期第3四半期	40.44	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第3四半期	25,916	9,041	34.3
2020年5月期	27,134	9,566	34.7

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 8,896百万円 2020年5月期 9,426百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		8.00		20.00	28.00
2021年5月期		8.00			
2021年5月期(予想)				20.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	7.0	1,230	45.6	1,170	46.2	760	36.7	42.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期3Q	18,000,000 株	2020年5月期	18,000,000 株
期末自己株式数	2021年5月期3Q	84 株	2020年5月期	84 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期3Q	17,999,916 株	2020年5月期3Q	17,999,916 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、事業の方向性を明確にし、戦略的投資を促進するため、不動産デベロップメント部門、不動産マネジメント部門及びエネルギーマネジメント部門の3部門からなる「不動産ソリューション事業」と課外活動ソリューション部門と人材ソリューション部門の2部門からなる「学生生活ソリューション事業」の2事業(セグメント)計5部門で事業展開を図っております。

また、期初に2021年5月期を初年度とする「新中期経営計画」を策定する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ今年度においては策定を見送ることとしております。

なお、2021年5月期の連結業績予想につきましては、2020年12月24日付で「2021年5月期の業績予想に関するお知らせ」を公表しております。

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の当社グループへの影響につきましては、旅行分野である課外活動ソリューション部門においては、合宿旅行等のほとんどが中止となり売上高が大きく減少し、不動産マネジメント部門においては主に食事付物件の食事未喫食者等に対して減免措置等の対応を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,522,281千円(前年同四半期比19.9%減)、営業利益は38,824千円(同96.7%減)、経常利益は15,577千円(同98.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は△5,342千円(前年同四半期は727,937千円)となりました。

① 売上高

当第3四半期連結累計期間の売上高は10,522,281千円(前年同四半期比19.9%減)となりました。セグメント別には不動産ソリューション事業の売上高は9,011,723千円(同8.7%減)、学生生活ソリューション事業の売上高は1,510,557千円(同53.8%減)となりました。また、部門別では、不動産デベロップメント部門は1,063,542千円(同46.1%減)、不動産マネジメント部門は7,709,274千円(同0.6%増)、エネルギーマネジメント部門は238,907千円(同3.0%増)、課外活動ソリューション部門は59,559千円(同96.0%減)、人材ソリューション部門は1,450,998千円(同17.8%減)となりました。

なお、不動産デベロップメント部門における売上高の減少は、売却した販売用不動産の物件規模が前年同期売却物件に比べ小さかったことによるものであります。また、課外活動ソリューション部門の売上高の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響による旅行関連商品の減少によるものであり、人材ソリューション部門の売上高の減少は、印刷媒体や学生が実際に参加するイベント・セミナー等の売上高が減少したことによるものであります。

② 営業利益

当第3四半期連結累計期間の不動産ソリューション事業の売上総利益は1,659,838千円(前年同四半期比22.0%減)、セグメント利益は790,447千円(同36.1%減)となりました。

なお、不動産ソリューション事業における売上総利益及びセグメント利益の減少は、主に不動産デベロップメント部門における販売用不動産の売却額の減少に伴い売却利益が減少したことによるものであります。

また、学生生活ソリューション事業の売上総利益は825,116千円(同50.8%減)、セグメント利益は△206,204千円(前年同四半期は461,976千円)となりました。

なお、学生生活ソリューション事業の売上総利益及びセグメント利益の減少は、主に課外活動ソリューション部門及び人材ソリューション部門における売上高の減少によるものであります。

その結果、各セグメントに配分していない全社費用545,419千円(同2.5%増)を調整し、全社の当第3四半期連結累計期間の営業利益は38,824千円(同96.7%減)となりました。

③ 経常利益

当第3四半期連結累計期間において、営業外収益に有価証券評価益24,450千円、助成金収入17,949千円などを計上したことにより営業外損益は△23,246千円（前年同四半期は△62,833千円）となり、その結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益は15,577千円（前年同四半期比98.6%減）となりました。

④ 親会社株主に帰属する四半期純利益

当第3四半期連結累計期間において、特別損失に固定資産除却損9,626千円、法人税等6,110千円及び非支配株主に帰属する四半期純利益5,182千円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は△5,342千円（前年同四半期は727,937千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は25,916,464千円となり前連結会計年度末に比べ1,217,670千円減少いたしました。この減少の主な要因は、現金及び預金が1,640,142千円の減少、販売用不動産が653,745千円の減少、投資その他の資産のその他が71,642千円の減少、受取手形及び売掛金が93,932千円の増加、有価証券が74,450千円の増加及び流動資産のその他が1,001,844千円増加したことによります。

負債合計は16,874,851千円となり前連結会計年度末に比べ692,917千円減少いたしました。この減少の主な要因は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が388,683千円の減少、未払法人税等が484,222千円の減少、賞与引当金が202,500千円の減少、支払手形及び買掛金が70,192千円の増加、短期借入金が150,000千円の増加及び固定負債のその他が124,839千円増加したことによるものであります。また、純資産合計は9,041,613千円となり前連結会計年度末に比べ524,753千円減少いたしました。この減少の主な要因は、前期の剰余金の処分による配当金359,998千円、中間配当金143,999千円、その他有価証券評価差額金△20,595千円を計上したことによるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度の34.7%から34.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めるため第2四半期終了後の2020年12月24日に公表いたしました。

現時点での進捗状況から、公表している業績予想については達成できる見込みとなっており、今後はさらなる上積みを目指してまいります。

また、1株当たり配当につきましては、すでに公表している通り前連結会計年度の配当額を維持することとし、期末配当は20円、年間配当は28円（中間配当8円は実施済み）を予定しております。

なお、今後の進捗状況により業績及び配当等について開示すべき情報の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,972,773	4,332,630
受取手形及び売掛金	351,708	445,641
有価証券	—	74,450
販売用不動産	12,193,941	11,540,196
仕掛品	16,270	82,401
貯蔵品	23,483	32,003
その他	716,498	1,718,342
貸倒引当金	△55	△220
流動資産合計	19,274,618	18,225,445
固定資産		
有形固定資産	4,534,171	4,448,685
無形固定資産	599,110	587,532
投資その他の資産		
その他	2,726,615	2,654,972
貸倒引当金	△380	△171
投資その他の資産合計	2,726,234	2,654,801
固定資産合計	7,859,516	7,691,018
資産合計	27,134,135	25,916,464
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	298,628	368,820
短期借入金	600,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	3,075,387	2,563,616
未払法人税等	493,134	8,912
賞与引当金	271,500	69,000
その他	1,694,105	1,720,986
流動負債合計	6,432,754	5,481,335
固定負債		
長期借入金	9,441,639	9,564,727
役員退職慰労引当金	250,560	260,560
資産除去債務	66,341	66,915
その他	1,376,473	1,501,313
固定負債合計	11,135,014	11,393,516
負債合計	17,567,768	16,874,851

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	775,066	775,066
資本剰余金	511,183	511,183
利益剰余金	8,119,701	7,610,361
自己株式	△17	△17
株主資本合計	9,405,934	8,896,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,813	217
その他の包括利益累計額合計	20,813	217
非支配株主持分	139,618	144,800
純資産合計	9,566,366	9,041,613
負債純資産合計	27,134,135	25,916,464

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2021年2月28日)
売上高	13,136,330	10,522,281
売上原価	9,330,175	8,037,326
売上総利益	3,806,155	2,484,954
販売費及び一般管理費	2,639,854	2,446,130
営業利益	1,166,300	38,824
営業外収益		
受取利息	1,416	1,145
受取配当金	214	214
持分法による投資利益	7,488	7,479
有価証券評価益	—	24,450
助成金収入	—	17,949
雑収入	14,173	22,151
営業外収益合計	23,293	73,390
営業外費用		
支払利息	56,573	55,745
資金調達費用	28,166	39,947
その他	1,387	944
営業外費用合計	86,127	96,636
経常利益	1,103,467	15,577
特別損失		
固定資産除却損	—	9,626
特別損失合計	—	9,626
税金等調整前四半期純利益	1,103,467	5,951
法人税、住民税及び事業税	367,182	26,549
法人税等調整額	△4,726	△20,438
法人税等合計	362,456	6,110
四半期純利益又は四半期純損失(△)	741,010	△159
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,072	5,182
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	727,937	△5,342

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	741,010	△159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,107	△20,595
その他の包括利益合計	△23,107	△20,595
四半期包括利益	717,903	△20,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	704,830	△25,938
非支配株主に係る四半期包括利益	13,072	5,182

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	不動産ソリューション事業	学生生活ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,867,016	3,269,313	13,136,330	—	13,136,330
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,867,016	3,269,313	13,136,330	—	13,136,330
セグメント利益	1,236,230	461,976	1,698,206	△531,906	1,166,300

(注) 1 セグメント利益の調整額△531,906千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	不動産ソリューション事業	学生生活ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,011,723	1,510,557	10,522,281	—	10,522,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,011,723	1,510,557	10,522,281	—	10,522,281
セグメント利益又は損失(△)	790,447	△206,204	584,243	△545,419	38,824

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△545,419千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。